



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社  
 コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押森広仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 小出 篤 TEL 026-275-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,699	0.1	△243	—	△247	—	△429	—
29年3月期第2四半期	4,692	15.7	△283	—	△302	—	△329	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △425百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △557百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△34.57	—
29年3月期第2四半期	△26.53	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	12,488	3,269	26.2	263.25
29年3月期	12,477	3,695	29.6	297.55

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,269百万円 29年3月期 3,695百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	26.1	910	129.2	920	132.3	750	123.9	60.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	12,969,000株	29年3月期	12,969,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	549,573株	29年3月期	549,573株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	12,419,427株	29年3月期2Q	12,420,215株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手できる情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成29年11月24日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(参考資料)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

過年度において不適切な会計処理が行われていたことが判明したため、過年度の決算訂正を行い、平成29年7月31日に、「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正第2四半期決算短信を提出しております。これにより、前年同四半期数値及び前年同四半期比につきましては、訂正後の数値をもとに記載しております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、引続き政治的リスク、地政学的リスクが懸念されますが、欧米では内需の底堅さなどから景気回復が続いており、中国は各種政策の効果により景気は持ち直しの動きが見られ、新興国経済も総じて穏やかな回復傾向が続きました。一方、わが国経済も、個人消費は依然弱いものの、企業収益及び雇用環境の回復により、穏やかな回復基調で推移してまいりました。

こうした環境の中で、当社グループの主たる供給先である半導体業界は、需要の旺盛なフラッシュメモリを中心に設備投資が拡大し、また中国においては、国の支援もあり半導体メーカーの設備投資が本格化してきております。また、自動車業界に関しては、自動車の高機能化による電子制御装置の増加や、電気自動車・ハイブリッド車の増加により、車載用センサーやインバーターをはじめとする電子部品需要が拡大するとともに、需要先も国内から欧州、アジアの車載半導体関連メーカーに拡大し堅調に推移しております。当社は車載向けを想定して開発した大型モジュール用モルディングシステム「GTM-170T」及び高速デバイスマウンター「ADM-2000」など好調な動きとなっております。

一方、スマートフォン向けに関しては、当社が開発したWLP(ウェハーレベルパッケージ)用コンプレッションモールド装置の「WCM-300L」は、スマートフォン向けCPU等先端パッケージに加え、新たにメモリーにも採用されるなどその用途が拡大するとともに、多くの半導体メーカーより引合いをいただいておりますが、一時的なスマートフォンの在庫調整の影響を受けて投資の先送り等により受注は、想定を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,699百万円(前年同四半期比0.1%増)、営業損失は243百万円(前年同四半期は営業損失283百万円)、経常損失は247百万円(前年同四半期は経常損失302百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は429百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失329百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①電子部品組立装置

電子部品組立装置の受注環境は、車載向け装置はマーケットの拡大とともに引続き順調な動きとなっております。一方、当社が強みとしているWLP(ウェハーレベルパッケージ)を始めとする高機能向けスマートフォンのパッケージ向け装置に関しては、中国を中心にスマートフォンの在庫調整が発生したこと、その後のスマートフォンの新製品の動きも期待を下回る動きとなっていることから、引き合いは強いものの、顧客メーカーの投資判断が遅れており、当初想定を下回った動きとなっております。

また、景気回復とともに装置に使用する部材の調達が長期化していること、売上を計上するための検収の基準等を厳格化して運用していること等により、納期および売上の遅延が発生しており、売上及び利益は当初想定を下回りました。

この結果、売上高は3,928百万円(前年同四半期比0.0%減)、セグメント利益は64百万円(前年同四半期比41.1%減)となりました。

#### ②電子部品

半導体等向けのリードフレームに関しては、底打ちの傾向が見られましたが、銅材等の資材価格が値上がりし、損益面で影響を与えました。一方、前連結会計年度に実施したLPS(LEDプリモールド基板)事業の人員を含む生産体制の大幅な縮小により、赤字幅は縮小いたしました。

この結果、売上高は567百万円(前年同四半期比3.4%増)、セグメント損失は50百万円(前年同四半期はセグメント損失104百万円)となりました。

#### ③その他

その他につきましては、リード加工金型及びリードフレーム用生産金型の販売であります。リードフレームを使用する半導体の設備投資につきましてはマーケットが限られており、また、リード加工金型は当面の需要の一巡感もあることから低調に推移しました。

この結果、売上高203百万円(前年同四半期比5.5%減)、セグメント利益は28百万円(前年同四半期比162.4%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、12,488百万円（前連結会計年度末は12,477百万円）となり、前連結会計年度末と比較して10百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が減少した一方、仕掛品の増加による棚卸資産の増加によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、9,219百万円（前連結会計年度末は8,782百万円）となり、前連結会計年度末と比較して436百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金及び前受金の増加によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,269百万円（前連結会計年度末は3,695百万円）となり、前連結会計年度末と比較して425百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の赤字幅の拡大によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は26.2%（前連結会計年度末は29.6%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して26百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2,565百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は97百万円の減少（前年同期間は1,510百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上、棚卸資産の増加及び仕入債務の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は206百万円の減少（前年同期間は71百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は281百万円の増加（前年同期間は128百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間につきましては、売上を計上するための検収の基準等を厳格化して運用したこと、また景気の回復とともに装置に使用する部材の調達が長期化していること等により、納期及び売上について当初想定より遅延が発生しております。以上を主因として売上及び利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

このような状況を踏まえ、第2四半期累計期間の連結及び個別の業績予想の見直しを行い、平成29年10月27日に第2四半期累計期間の業績予想の修正の公表をいたしました。

なお、通期業績予想につきましては、客先メーカーにおいてスマホ向け関連投資が年度後半にずれ込んでいることなど不透明な要素が多いため、平成29年7月31日公表の通期業績予想は修正せず、今後の市況や業績動向等を踏まえ、修正が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,592,015	2,565,345
受取手形及び売掛金	2,419,331	1,779,517
商品及び製品	2,419,909	1,920,207
仕掛品	1,946,005	2,764,136
原材料及び貯蔵品	186,014	363,970
その他	141,920	172,381
貸倒引当金	△510	△510
流動資産合計	9,704,687	9,565,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	801,977	767,499
機械装置及び運搬具(純額)	299,336	358,065
土地	484,534	484,534
その他	164,211	255,124
有形固定資産合計	1,750,059	1,865,224
無形固定資産	65,286	98,763
投資その他の資産		
その他	962,327	963,094
貸倒引当金	△4,436	△3,350
投資その他の資産合計	957,891	959,744
固定資産合計	2,773,237	2,923,731
資産合計	12,477,924	12,488,779
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,313,412	2,084,517
短期借入金	2,934,000	3,328,000
1年内返済予定の長期借入金	173,410	163,270
未払法人税等	47,468	37,090
賞与引当金	114,086	133,983
製品保証引当金	48,272	65,654
前受金	1,371,486	1,611,015
その他	277,768	312,255
流動負債合計	7,279,904	7,735,787
固定負債		
長期借入金	637,100	557,300
退職給付に係る負債	702,048	689,695
その他	163,515	236,608
固定負債合計	1,502,663	1,483,603
負債合計	8,782,568	9,219,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	△1,734,381	△2,163,755
自己株式	△101,247	△101,247
株主資本合計	4,001,870	3,572,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,123	32,728
為替換算調整勘定	△311,678	△330,021
退職給付に係る調整累計額	△12,959	△5,815
その他の包括利益累計額合計	△306,514	△303,108
純資産合計	3,695,355	3,269,388
負債純資産合計	12,477,924	12,488,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,692,518	4,699,361
売上原価	3,820,145	3,809,780
売上総利益	872,372	889,580
販売費及び一般管理費	※1 1,155,395	※1 1,133,165
営業損失(△)	△283,022	△243,584
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,425	2,328
受取技術料	6,413	14,042
受取賃貸料	14,734	6,384
その他	16,729	18,909
営業外収益合計	40,303	41,664
営業外費用		
支払利息	36,371	37,352
持分法による投資損失	901	5,688
為替差損	14,601	—
その他	7,973	2,583
営業外費用合計	59,848	45,625
経常損失(△)	△302,567	△247,545
特別利益		
固定資産売却益	—	7,667
特別利益合計	—	7,667
特別損失		
固定資産売却損	244	7
減損損失	※2 22,000	—
過年度決算訂正関連費用	—	166,652
特別損失合計	22,244	166,660
税金等調整前四半期純損失(△)	△324,812	△406,538
法人税、住民税及び事業税	4,955	13,228
法人税等調整額	△302	9,606
法人税等合計	4,652	22,835
四半期純損失(△)	△329,464	△429,373
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△329,464	△429,373

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△329,464	△429,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,617	14,605
為替換算調整勘定	△141,579	△9,241
退職給付に係る調整額	5,012	7,144
持分法適用会社に対する持分相当額	△102,833	△9,101
その他の包括利益合計	△227,782	3,406
四半期包括利益	△557,247	△425,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△557,247	△425,967

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△324,812	△406,538
減価償却費	130,792	135,403
減損損失	22,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	510	△1,086
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,307	20,598
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,936	17,381
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20,598	△5,212
受取利息及び受取配当金	△2,425	△2,328
支払利息	36,371	37,352
為替差損益(△は益)	11,880	2,761
持分法による投資損益(△は益)	901	5,688
固定資産売却損益(△は益)	244	△7,659
固定資産除却損	2,296	9
売上債権の増減額(△は増加)	△1,040,760	636,390
たな卸資産の増減額(△は増加)	△210,963	△500,161
未収消費税等の増減額(△は増加)	43,980	△39,901
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△65,310	6,911
仕入債務の増減額(△は減少)	△794,865	△205,113
その他の負債の増減額(△は減少)	762,308	281,747
その他	—	1,086
小計	△1,441,204	△22,670
利息及び配当金の受取額	2,425	2,328
利息の支払額	△36,016	△37,325
法人税等の支払額	△36,090	△39,804
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,510,885	△97,472
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△70,326	△214,574
有形固定資産の売却による収入	68	7,711
無形固定資産の取得による支出	△1,478	△2,455
出資金の払戻による収入	—	2,260
その他の支出	△834	△106
その他の収入	756	473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,813	△206,692
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	284,000	394,000
長期借入金の返済による支出	△126,744	△89,940
自己株式の取得による支出	△303	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△28,517	△22,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	128,435	281,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50,845	△3,892
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,505,109	△26,669
現金及び現金同等物の期首残高	3,460,611	2,592,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,955,502	※ 2,565,345

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第2四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	場所	種類	金額(千円)
事業用資産	アピックヤマダ株式会社 吉野工場	建物、機械装置、土地等	22,000

当社グループは、事業用資産については、工場ごとにグルーピングしております。

事業用資産のうち、電子部品事業に供している吉野工場について収益環境が悪化したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少価額を減損損失として特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物3,281千円、機械装置及び運搬具8,606千円、土地3,564千円、リース資産5,487千円、その他固定資産1,059千円であります。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、処分価額又は鑑定評価額であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電子部品 組立装置	電子部品	その他 (注)	
売上高				
外部顧客への売上高	3,928,385	548,919	215,213	4,692,518
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,409	3,092	78	5,579
計	3,930,795	552,011	215,291	4,698,098
セグメント利益又は損失(△)	110,162	△104,158	10,945	16,949

(注)「その他」の区分は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	16,949
セグメント間取引高消去	—
全社費用(注)	△299,972
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△283,022

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子部品」セグメントにおいて固定資産の減損損失を計上しております。尚、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては22,000千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	電子部品 組立装置	電子部品	その他 (注)	
売上高				
外部顧客への売上高	3,928,383	567,557	203,420	4,699,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	156	1,633	75,821	77,610
計	3,928,539	569,190	279,242	4,776,972
セグメント利益又は損失(△)	64,835	△50,244	28,719	43,310

(注)「その他」の区分は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	43,310
セグメント間取引高消去	—
全社費用(注)	△286,895
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△243,584

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考資料)

受注及び販売の状況

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)の受注及び販売の実績は次のとおりです。

(1)受注実績

セグメントの名称	受注高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
電子部品組立装置	3,828,550	80.1	74.9
電子部品	584,186	12.2	92.0
その他	368,959	7.7	183.5
合計	4,781,696	100.0	80.4

(2)受注残実績

セグメントの名称	受注残高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
電子部品組立装置	6,111,232	93.4	82.3
電子部品	130,903	2.0	84.5
その他	300,949	4.6	195.9
合計	6,543,084	100.0	84.6

(注) 当第2四半期連結期間の末日の受注残高

(3)販売実績

セグメントの名称	販売高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
電子部品組立装置	3,928,383	83.6	100.0
電子部品	567,557	12.1	103.4
その他	203,420	4.3	94.5
合計	4,699,361	100.0	100.1